

管 理 会 計 論

本試験

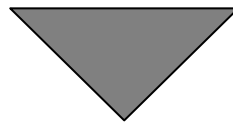
問題 14 差額原価収益分析に関する次の記述のうち、正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。(5 点)

～ 略 ～

ウ. 機会原価とは、ある代替案を選択することによって他の代替案が選択できなくなった場合、選択されなかった代替案から得られたであろう利益の中で最大のものである。したがって、最適な意思決定を行うためには、代替案の中で差額利益と機会原価が共に最大になるものを考慮すればよい。

《解答 14》

ウ. 誤 誤った記述である。代替案の中で差額利益が最大になるもの、機会原価が最小になるように選択するというのが正しい記述である。



短答ポイントアップ答練 第 2 回

問題 14 差額原価収益分析に関する次の記述のうち、正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。(6 点)

～ 略 ～

エ. 特定の代替案を採用することで他の代替案を断念せざるをえない場合、断念した代替案から得られたはずの利益の中で、最大のものを機会損失という。

《解答 14》

エ. 誤 本肢の記述は誤りである。特定の代替案を採用することで他の代替案を断念せざるをえない場合、断念した代替案から得られたはずの利益(キャッシュ・インフロー)の中で最大のものは、機会損失ではなく機会原価である。機会損失とは、本来選択すべきでない代替案を選択した場合に、本来選択すべき代替案との比較において被る逸失利益をいうのであって、最適な代替案の選択を前提とする機会原価とは区別されなければならない。すなわち、機会原価が必要不可欠な「コスト」であるのに対し、機会損失は回避すべき「ロス」であるという点において相違する。